

実施報告書

団体名 _____

事業(行事)名

--

1. 助成金の活用状況(どのような行事を行ったか。)
2. 事業(行事)のアピールポイント・よかったこと・苦労したこと
3. 助成条件及び審査員からのアドバイスを活動に活かすことができましたか？
4. 今後の事業計画・事業展開について
5. 区民へのありがとうメッセージ
(写真は、別添もしくは info@tarumi-csw.or.jp 宛てでデータを送付ください。)

団体名 _____

活動収支報告書

■収入

項目	内 訳	金額(円)	助成金
助成金	明日に架ける『たるみ応援ハートブリッジ助成』		
参加費			
売 上			
自己資金			
寄 付			
合 計(a)			

※本助成金は赤い羽根共同募金と善意銀行預託金を財源としています。自己資金や参加費等の活用を検討して下さい。

■支出

対象となる経費
対象とならない経費

消耗品、印刷費、通信費、使用料、備品費、保険料、手数料、修繕費、参加費
人件費、運営費、茶菓代、水道光熱費、(それぞれの詳細はご案内を参照ください)

項目	積算内訳	金額(円)	充当額
交通費			
謝 金			
消耗品			
印刷費			
通信費			
使用料			
備品費			
保険料			
手数料			
修繕費			
参加費			
その他			
対象外 経費			
合 計(a)			

自己評価シート

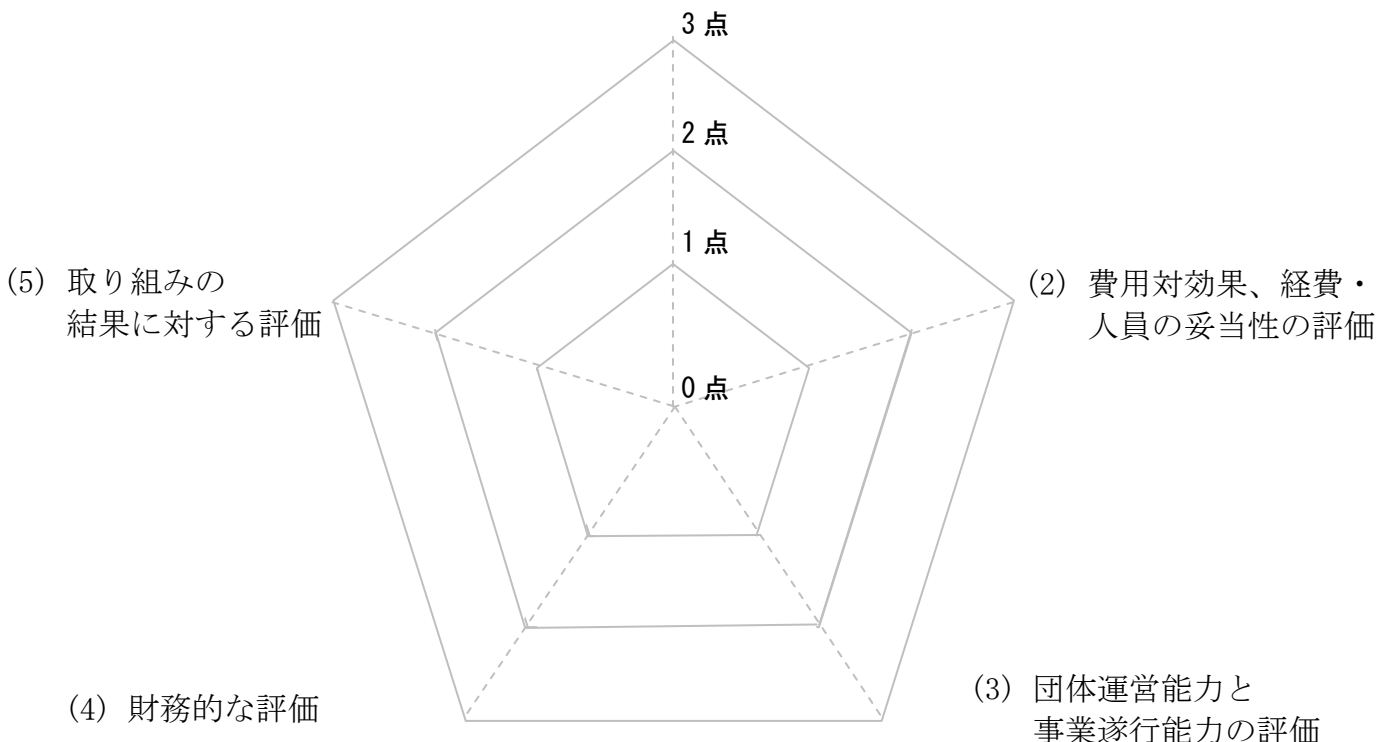
このシートは、団体の自己評価を行っていただき、助成後も活動を継続発展いただく参考にしていただくために実施するものです。各項目に3つの評価を設けていますので、できたものには○、できなかったものには×をつけてください。

○1つにつき1点として、各項目3点満点で採点の上、レーダーチャートに書き込み各項目を実線で結んでみてください。

自己評価の項目	評価の内容	点
(1) 地域課題解決・地域福祉への寄与度の評価	①申請時に設定した効果を得ることができましたか？	3点中 点
	②申請時に設定した課題を解決することはできましたか？	
	③地域の福祉の推進に寄与することができましたか？	
(2) 費用対効果、経費・人員の妥当性の評価	④投じた費用に見合った事業内容でしたか？	3点中 点
	⑤事業の目的を達成するために複数の見積もりをとるなど、費用の支出を適正に行いましたか？	
	⑥助成金により期待した効果を上げることができましたか？	
(3) 団体運営能力と事業遂行能力の評価	⑦団体の運営は適正になされていましたか？	3点中 点
	⑧事業遂行に際し、問題発生を想定した体制づくりをしていましたか？	
	⑨取り組みをスムーズに遂行することができましたか？	
(4) 財務的な評価	⑩収支のバランスを客観的にみて適正な処理ができましたか？	3点中 点
	⑪この助成により団体の財務的課題は解決されましたか？	
	⑫今回の助成の経験をもとに、他の助成制度に積極的に取り組むことができそうですか？	
(5) 取り組みの結果に対する評価	⑬取り組みの結果、利用者(構成員)の満足度は向上しましたか？	3点中 点
	⑭助成後も同様の事業を展開・発展し続けられそうですか？	
	⑮第三者から何らかの評価が得られましたか？	

自己評価レーダーチャート

(1) 地域課題解決地域福祉への寄与度の評価



団体名 ボランティアたるみ

事業(行事)名

子育てサークル事業

1. 助成金の活用状況(どのような行事を行ったか。)

専門家を招き親子で参加できるワークショップを実施することができた。
また、子育てで困っている保護者に対し、子育てがひと段落した人や専門家からアドバイスを受けられる場を提供することができた。

2. 事業(行事)のアピールポイント・よかったこと・苦労したこと

良かったこととしては、参加者にアンケートを実施したところ、専門家がいたことで、当事者では気がつかない視点や、学びがあったという声が多数寄せられた。
また、子育て世代に限定せず広報したことで、大学生からボランティア希望の問合せがあり、サークルの活動の幅が広がった。
一方、苦労したこととしては、専門家(講師)との日程調整が難航したことや、参加費の増額による、参加者の出席率低下があげられる。

3. 助成条件及び審査員からのアドバイスを活動に活かすことができましたか？

子育て世代に限定せず、広報を行ったことで、学生ボランティアを獲得することができた。一方事業収入を増やすために参加費を増額したが、期待した効果を得ることができなかった。
赤い羽根共同募金運動への参加については、街頭募金に1回参加した他、サークル活動の会場で、募金箱を設置し、募金を呼びかけた。

4. 今後の事業計画・事業展開について

参加者の声をもとに、参加費の設定を見直しし、どの程度の増額であれば良いかを検討して、参加者の出席率を向上させていきたい。また、世代を限定せず、積極的に広報を行い、参加者はもちろん、支援者をつのって、活動の幅を広げていきたい。

5. 区民へのありがとうメッセージ

(写真は、別添もしくは info@tarumi-csw.or.jp 宛てでデータを送付ください。)

今回、助成金を受けられたことで、今までにない取り組みを行うことができました。また、当初は想定していなかった支援者を獲得することができ、活動の幅が広がりました。ありがとうございました！

記入例

団体名 ボランティアたるみ

収 支 決 算 書

■収入

項目	内 訳	金額(円)	助成金
助成金	明日に架ける『たるみ応援ハートブリッジ助成』	50,000	50,000
参加費	600円×のべ43名	25,800	
売 上			
自己資金		18	
寄 付			
合 計(a)		75,818	50,000

※本助成金は赤い羽根共同募金と善意銀行預託金を財源としています。自己資金や参加費等の活用を検討して下さい。

■支出

対象となる経費	消耗品、印刷費、通信費、使用料、備品費、保険料、手数料、修繕費、参加費
対象とならない経費	人件費、運営費、茶菓代、水道光熱費、(それぞれの詳細はご案内を参照ください)

項目	積算内訳	金額(円)	充当額
交通費	ボランティア交通費 バス@210×2×10回×3名 講師交通費@760×2×3回×1名	17,160	0
謝 金	講師謝金@10,000×3回×1名	30,000	30,000
消耗品	A4 コピー用紙 500枚@298、プロッキー@1280 模造紙@580	2,158	0
印刷費	チラシ印刷費@10×100枚×3回	3,000	3,000
通信費			
使用料	自治会館多目的室使用料@700×10回	7,000	7,000
備品費			
保険料	行事用保険@1,000×10回	10,000	10,000
手数料			
修繕費			
参加費			
その他			
対象外経費	お茶菓子代	6,500	
合 計(a)		75,818	50,000

記入例

自己評価シート

このシートは、団体の自己評価を行っていただき、助成後も活動を継続発展いただく参考にしていただくために実施するものです。各項目に3つの評価を設けていますので、できたものには○、できなかったものには×をつけてください。

○1つにつき1点として、各項目3点満点で採点の上、レーダーチャートに書き込み各項目を実線で結んでみてください。

自己評価の項目	評価の内容	点
(1) 地域課題解決・地域福祉への寄与度の評価	①申請時に設定した効果を得ることができましたか？	○ 3点中
	②申請時に設定した課題を解決することはできましたか？	○
	③地域の福祉の推進に寄与することができましたか？	○ 3点
(2) 費用対効果、経費・人員の妥当性の評価	④投じた費用に見合った事業内容でしたか？	○ 3点中
	⑤事業の目的を達成するために複数の見積もりをとるなど、費用の支出を適正に行いましたか？	○
	⑥助成金により期待した効果を上げることができましたか？	○ 3点
(3) 団体運営能力と事業遂行能力の評価	⑦団体の運営は適正になされていましたか？	○ 3点中
	⑧事業遂行に際し、問題発生を想定した体制づくりをしていましたか？	
	⑨取り組みをスムーズに遂行することができましたか？	○ 2点
(4) 財務的な評価	⑩収支のバランスを客観的にみて適正な処理ができましたか？	○ 3点中
	⑪この助成により団体の財務的課題は解決されましたか？	○
	⑫今回の助成の経験をもとに、他の助成制度に積極的に取り組むことができそうですか？	○ 3点
(5) 取り組みの結果に対する評価	⑬取り組みの結果、利用者(構成員)の満足度は向上しましたか？	○ 3点中
	⑭助成後も同様の事業を展開・発展し続けられそうですか？	○
	⑮第三者から何らかの評価が得られましたか？	

自己評価レーダーチャート

(2) 地域課題解決地域福祉への寄与度の評価

